

2026年6月4日

各 位

会 社 名 三井海洋開発株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮田 裕彦
(コード番号 6269 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部 (TEL. 03-5290-1240)

将来のゼロエミッション FPSO を目指し 1.2 MW 級 SOFC+CO₂回収設備 統合システム開発に関する基本合意書(MOU)を Eld Energy 社と締結

三井海洋開発株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮田 裕彦)は、ノルウェーの燃料電池システム会社 Eld Energy AS(以下「Eld Energy 社」と)、FPSO(Floating Production, Storage and Offloading:浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備)向けの高効率 1.2 MW 級 SOFC+CO₂回収設備統合システムの開発に関する基本合意書(MOU)を締結しました。本 MOU に基づき、Eld Energy 社は、必要な試験・検証を含む固体酸化物形燃料電池(SOFC)をベースとした電源システムの設計・調達・建設を進め、当社は CO₂回収システム及び FPSO との統合を担当し協業します。1.2 MW 級の設備は、2029 年に陸上試験を実施し、その後、長期実証に進む予定です。

今回の MOU は、両社が 2025 年より進めてきた海洋向け SOFC システムの共同開発を 40 kW から 120 kW SOFC+CO₂回収システムのパイロット試験へ段階的に拡大してきました。これらの成果を踏まえた新たなフェーズでは、拡張性の実証と、洋上電源における統合的な CO₂排出量の管理を目指します。



ホーコン・ノルウェーの皇太子殿下の来日時、ノルウェー漁業・海洋政策大臣の立ち会いのもと MOU を締結(東京)
左から

Per Christer Lund, Energy Councillor, Norwegian Embassy Tokyo

上田 恭嗣 三井海洋開発 Global Director of Technology & Innovation

Hans Fredrik Lindøen-Kjellnes, CEO, Eld Energy

Heidi M. Dahl, Regional Director for Asia & the Middle East, Innovation Norway

Marianne Sivertsen Næss, Minister of Fisheries and Ocean Policy

SOFCは高温で化学エネルギーを直接電気に変換し、複数の燃料に対応可能です。これに排ガスからのCO₂回収を組み合わせることで、稼働率を損なうことなくFPSO電源の本格的な脱炭素化に向けた実用的な道筋を提供します。今後も当社は拡大するエネルギー需要へ対応し、FPSOにおけるエネルギーの安定供給とCO₂排出量低減を両立することで、持続可能な社会に貢献してまいります。

参考:これまでのリリース

- [FPSOからのGHG排出量削減を目指しSOFC\(固体酸化物形燃料電池\)パイロットプラントを発注](#)
- [FPSO向け120kW SOFC+CO₂回収設備 統合システムの共同開発契約をELD Energy社と締結](#)
- [海洋向けSOFC発電システム開発でEld Energy社・Delta社と戦略的協業に向けた声明を発表](#)

三井海洋開発株式会社について

三井海洋開発 (MODEC) は、FPSO (Floating Production, Storage & Offloading system: 浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備) をはじめとする海洋石油・ガス開発プロジェクトに用いられる浮体式海洋石油ガス・生産設備の設計、建造、リース、チャーター、オペレーション&メンテナンス・サービスを提供する日本で唯一の企業です。また、当社の係留事業部門である SOFEC® Mooring Solutions は、オフショアエネルギー分野において、安全性・信頼性・革新性に優れた係留システムを提供しています。

<https://www.modec.com/jp>